

連載 2

通背拳の名手として知ら

れる常松勝氏の散打の技法シリ

ーズ第二回。今回は、通背拳、

螳螂拳、武松脱拷拳の中から、

それぞれの拳法の特徴のよく出た技法を選んで紹介する。

常松勝

戦闘技法としての
中国武術を探る

散打の技法

解説・演武 **常松勝**

演武協力 橋本良識 / 山中和彦

技法の4 通背拳連環手から探背手

れんかんしゅから
たんはいしゅ

確実に敵を捉
連続技
ENNIN

①右手を前にさし出し、左虚歩に

構え、相手の前手に触れる。

(写真①)

②左手で相手の前手を下にすばやくはたくと同時に

に、右掌を相手の左顔面に飛ばす。(写真②③)

※写真は、説明の便宜上二つに分けているが、実

際には②③の動作は、必ず同時に行うこと。

③相手が、左手で私の右掌攻撃を

受けたら、即右手を手前に引く

ようにして、相手の体勢を崩し



■拡大写真
 ③で相手の腕を引くとき、写真の
 ように、受けた相手の腕の手首あ
 たりを引いてくると効果的である。
 (写真①②)



ガードを下に下げる。(写真④)



変化技

③で相手のガードを下げることで、
 きたら、相手の顔面に右拳を飛ばして、
 後方にフツ飛ばすのも効果的
 である。(写真⑥⑦)



④両掌で相手の胸を突き
 飛ばす。(写真⑤)



単練動作(連環手から探背手)

- ①左足の虚歩になり、右掌を上に向けてさし出し構える。
- ②左足に体重を移し、右掌をすばやく前方に出す。(連環手)
- ③④両手を一たん胸前に引いてから、掌を前方に向けたまま(小指側を上)両掌を押し出す。(探背手)



技法の5 通背拳点手・てんしゅ

攻防一体の妙手

点手とは、相手の突き腕の上から自分の手をすべらせるようにし、相手の突きは外へはじき出し、自分の攻撃は確実に相手の急所を捉えることのできる攻防一体の技である。

方法には、相手の突きの内側から行い、上から下へ押しつぶしていくものと、相手の突きの外側から行い、下から上へすべらせていくものがある。どちらも、確実に相手の脇下の急所を捉えることのできる強力な技である。また、相手がこの点手を防ごうとした場合、次のような変化をする。

応用二

① 相手の右の突きに対し、我は左手指先を、内側からこすり入れる。(写真①)

② 相手の右の突きに対し、我は左手指先を、内側からこすり入れる。我の点手を上方にはね上げるしか、受ける方法はない。相手が上にはねる瞬間、我は左掌を上にし、相手の力を利用して、アゴを上方にはね上げる。(写真②③)

応用二

④ 相手の突き腕の外側からこすり入れ、相手が肘を落として、これを防いだら、(写真④)

⑤ 相手の腕の力を利用して、我の左手をくると外から回し、相手の耳、後頭部などを打つ。(写真⑤)



技法の6 螳螂拳拐軸蹬捕

●かしくとうほ

□構えから、左足、右足の順で歩を進め、相手に接近する。同時に、左手を右手の下からさし入れ、相手の前手を内から外に開き、相手の体勢を崩す。
(写真①②)



1

□相手の左腕を左下方に引きつつ、右足は相手の前足の背後にさし入れ、同時に右肘を相手の胸に振り当て、後方に倒す。
(写真③④)



2



3

単練動作(拐軸蹬捕)
①②構えから体重を左足に移していき、左手を右手の下を通して、肘、手首とすべらせていく。
③次に、右足を右斜め後方に踏み出し、右肘を回すようにして突き出す。左手は右拳をおおうようにする。



1



2



3



3の正面



4

投げと打ちを同時に
実戦技

技法の7

武松脱拷拳

一龍指珠

にりゅうしじゆ

最も簡易で効果的な
奇襲技



1

① 構えから左足に体重を移して左弓式になりつつ
② 右手の人差指と中指を突き出していく。
右練動作(一龍指珠)



2

一 相手と右手を触れ合わせて
構える。(写真①)



1



2



3

二 左手で相手の前手を下方に落と
しつつ、右手の人差指と中指の
二本を突き出し、すべらせるよ
うにして相手の両目を突く。
(写真②)